楽典和声講座 演習問題 #02 音の呼び方

1. イタリア音名 ~ド・レ・ミ・…… ◆次の文章はイタリア音名について述べたものである。空欄を埋め、選択肢は適切なものを丸で囲め。 イタリア音名は、一般的には「ドレミファソラシド」という音の呼び方を指すが、声楽においては John Curwen の提 唱したトニック・ソルファ法の影響で、()を()と呼び替えることが多い。 この教育法では、音名の母音を変えることで#やりの付いた音も表せる。例えば、「ファ#」は()、「シり」 は()などと表す。声楽では特に(固定ド ・ 移動ド)の表現によく用いる。 2. 日本音名 ~ ハ・ニ・ホ・…… ◆次の文章は日本音名について述べたものである。空欄を埋めよ。 日本音名は、「いろはにほへと」に由来する日本独自の音名である。例えば、「レ」は()、「ファ」は() と呼ばれる。また、#・♭を指す言い方もあり、「ド#」は()、「ミ♭」は()と呼ばれる。 音部記号の名前は日本音名に由来し、「ト音記号」 の渦の中心は、イタリア音名でいう () の音を指し示している。 3.ドイツ音名 ~ C・D・E・······ ◆次の文章はドイツ音名について述べたものである。空欄を埋めよ。 ドイツ音名は、「CDEFGAHC」という音の呼び方である。例えば、「G」は()と読み、イタリア音名でいう(を指す。この音名では、語尾を足すことで#・bを表す。例えば「ド#」は()と呼ばれ、「レb」は() と呼ばれる。ただし、いくつか例外があり、「シb」は()、「ミb」は()と呼ばれる。 4. 音域の表し方 ~ low・mid・hi 次の音符は何の音を指しているか。「mid2A」のように、「low・mid・hi」の記法とドイツ音名を併用して書け。